

受験体験記

社会福祉士

福祉が私を 成長させた

松尾 憲治

私かなぜ福祉士を取
得たかと思っただか、
それは16年前のこと
だ。当時、私は高校卒
業後18歳で会社に就職
し、毎日、現場仕事を
していた。ある日、上
司と口論になり退職し

フリーターになり、次
の建築会社への就職活
動をしようと思ってい
た時、母親が私に「フ
ラフラしてるんやっ
たら、ここでアルバイト
したらどうや」と手
ちぎった紙を一枚、私
に渡した。

内容は「特別養護老
人ホームの介護職員募
集時給850円」。全
く理解できていなかっ
たが、車のローンもあ
ったのでとりあえず連
絡し面接を受けること
にした。採用され職場
に行くこと、介護スタッ
フや看護師たちが私を
避けるような目で見て
いた。「3日持たな
い、どうせすぐ辞め
る」といううわさが初
日から広がった。

最初の仕事は排せつ
と入浴の介助だった
が、抵抗を感じるこ
となく介助補佐として取
り組んだ。「福祉はこ
んな楽な仕事して時給
850円ももらえる最高
な仕事や」と感じ、と
にかく無我夢中で業務
に取り組んだ。

3カ月たったころ、
ホームヘルパーの資格
を取得してみないかと
声掛け、私はヘル
パーとなった。知識が
付いてくると現場の介
護方針に疑問を持つこ
とが多くなった。しか
し、知識不足の私には
意見を返せる力はな
く、腹立たしい日々が
続いた。

3年後、介護福祉士
受験の実務経験日数を
クリアし、勉強を始め
た。非行に走り勉強の
やり方が分からない私
にはストレスになり、
毎日嘔吐するほどの地
獄。「こんな苦しい受
験勉強、何が何でも一
発で合格してやる」。
根性で介護福祉士を取
得した。

その後、介護支援専
門員の資格を取得し高
齢者介護から障がい者
支援に移り、地域支援
のスキルを上げるため
社会福祉士の養成専門
学校で勉強を重ねた。
2年後、社会福祉士と
いう新しい自分が誕生
した。

私の勉強は、通信教
育などを受けず参考書
やインターネットを利
用した独学。ポイント
は声を出す、何度も読
み返す、書き写すのみ
で視覚・聴覚を活動さ
せること。
現在は障がい者施設
でサービス管理責任者
として働いている。そ
のほか、成年後見人
や計画相談員の仕事も
している。また、学生
ボランティアやスタッ
フと共に、障がいの有
無に関係なく誰もが当
たり前に住み慣れた地
域で自分なりの生活が
できる環境を創り出す
ために、NPO法人
「のくまらいず」を立
ち上げた。
またまた社会福祉に
対する偏見は多い世の
中、私たちはこだわりの
ビジョンを持ち、人
を広めるためミッシ
ョンを進化させていく。
(社会福祉法人勤
務、大阪府)

随時募集中

社会福祉士、介護福
祉士、精神保健福祉士
の国家試験を受験した
人の体験記を募集して
います。字数は800
字程度。氏名、年齢、
職業、連絡先を添えて
お送りください。採用
分には薄謝を差し上げ
ます。

◇編集部投稿係〒1
00-0001 東京都
千代田区霞が関3-3
1-1 尚友会館1階 03
・3581・043
3、taikenki@fukushi
shimbun.co.jp